2020年度　活動計画書

認定特定非営利活動法人　まちづくりネット東近江

１．はじめに

　私たちのビジョンは「誰もがまちの創りになる社会をつくる」ことを目標に、「思いを形にしたい人達のあゆみに寄り添う」ことをミッションに活動している。

　人口減少や少子高齢化は社会の課題として認知されているが、人間関係や地縁的なつながりが希薄化する地域では、解決への道は厳しいものがある。

一方、世界では、SDGsによる取組が始まっている。SDGsは国や政府、企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりにも密接に関わっていると考える。

　地域課題を解決するためには、市民が社会のニーズを把握し課題解決に向けて自主的に取り組むことが大切だと考え、市民の主体的な活動を応援するため「つながる」「ひろがる」「支え合う」のテーマで活動を行う。また、社会情勢を見極め事業へと活かしていく。

　昨年、地域自治組織との連携が何件かあった。今年度も引きつづき連携を深めながら進めたい。事務所も新たになり、会議室も出来たことからさまざまな企画を考えたい。

中間支援として高度なスキルと、社会からの要請と自らの志をもって活動していくことを目指す。

|  |  |
| --- | --- |
| **テーマ** | **事業内容** |
| **つながる** | ・交流促進と協働推進 |
| **ひろがる** | ・情報収集と発信・パブリックアクセス推進 |
| **支え合う** | ・相談・コンサルティング・活動資金の調達支援事業 |

２．事業内容

**【つながる】**

私たちのまわりには、社会の役に立ちたいという人々がたくさんいる。そうした人々に「つながる機会」を提供して、多くの人とともに課題を解決していく状況を作りだす。

「ほってはおけない」「何とかしたい」といった人たちの思いに寄り添い、市民の力を生み出す以下の活動を行う。

**（１）市民活動推進交流会～わくわくこらぼ村～**

2020年「市民活動交流会～わくわくこらぼ村」はこれまでの反省を省み、今後の開催を検討しながら進める。市民への理解と参加団体の交流機会をつくる。

・実行委員会（５回）

・12月開催予定

・参加団体交流会の開催（説明会か反省会か）

**（２）『共に考え共に創る』わがまち協働大賞**

『共に考え共に創る』わがまち協働大賞を募集し、協働を広く伝える機会とし、

　　 事務局を担う。また、｢協働冊子｣を広くPRしながら、「協働」を伝える。

・募集

・審査（書類・ヒアリング）・・・・・協働推進委員会

・わくわくこらぼ村で表彰式の開催・・・・・要検討

**（３）交流促進と協働推進**

時々のテーマによって交流とつながりを目的に事業を行う。また、市民活動促進のための調査・検討を行う。

・ええより開催（多分野の市民活動・地域活動を活性化するための交流会）

・ホームページによる団体のお知らせやボランティアの募集案内

・ひよこサロン（初めて市民活動に取り組もうとする人々向けの講座）

・テーマ別の中間支援機能（社協。農協・商工会など）との連携

**（４）ラウンドテーブル運営委員会**

協働ラウンドテーブル運営委員会の運営支援を行う。

・まちのわ会議の開催（課題共有や課題解決の導き）

・委員のスキルアップ

1. **地域循環共生圏構築検討事業**

環境省からの委託の４年間が終了したが、今後も住民参加型の課題解決につながる関係づくりをしていく。

**【ひろがる】**

　活動を通じて感じたことや考えたことを周囲に発信することは、その発信を通して、取り組む課題や活動が広く社会に共有され、共感者を増やしていくことにつながる。

そうした情報発信の課題解決のための対策や政策提言などの内容に広げることで、多くの人たちが参加できるように活動の見える化や共有化を図るために事業を行う。

**（１）情報収集と発信**

　　　市民活動・地域活動に関する情報収集と、様々な媒体を活用した情報発信を行うと共に、市民活動団体の情報発信に対する支援を行う。新たな拠点の発信を行い、市民への認知を高める

・広報誌にじまち（年間４回発行）

・不定期の情報紙「にじまちぷらす」の発行

・WEB媒体による事業ごとの報告の発信検討

・市民活動・地域活動等に関する情報の収集および発信

・活動団体のHP制作等の情報公開・発信の支援

・データベースのSalesforceの充実活用・促進

・団体パンフレットの作成

**（２）パブリックアクセス**

　 　 市民自らが公共のメディアを使って、情報発信を行うことを推進する。

・東近江市パブリックアクセス推進協議会の運営支援

・市民投稿番組「まちのわ」の開設・優秀動画の表彰

・動画作成に関する講座の開催

**【支えあう】**

市民活動・地域活動の実施・参加に関する相談、団体の組織化・運営・法人化等に関する各種の相談と支援を行う。

**（１）相談事業・コンサルティング**

窓口・電話による多様な相談への対応を行う。

相談事業は、中間支援として市民のニーズを知る大切な機会である。今年度も、まちづくり協議会と協働しながら、相談事業の地域開催にも取り組む。また、ＮＰＯについては日常の取り組みの中からニーズを拾い上げる。

・相談事業の地区開催（まちづくり協議会と連携）

・各種の相談要請に対するアドバイザーの派遣、専門家の仲介

・小規模多機能自治の推進に係るまちづくり協議会等への運営支援

**（２）**人**材育成・研修**

　　　市民や市民活動・地域活動を担う団体向けに市民活動の普及啓発を図る研修会を開催する。

・チラシ講座

・資金獲得、団体運営（組織化、情報発信、労務管理、会計事務等）に関する講座の開催

・会計講座

・ひよこサロン開催

・パソコン講座の開催（イラストレーター・フェイスブックなど）

・イベント開催の支援（そこらスクランブルスペース）・・・混ざり合う場

**（３）コミュニティビジネスセミナー**

　　　地域の課題を地域の資源で解決するためのコミュニティビジネスを学び、支援する。

・コミュニティビジネスの起業・経営に関する支援

・コミュニティビジネススタートアップ事業採択団体に相談会（３回）の実施。

**（４）活動資金の調達支援**

事業指定寄付制度のにじまちサポーターズを運営する。

・事業指定寄付制度であるにじまちサポーターズの運営

・寄付募集の実施（募金箱・カンパイチャリティー・フリーマーケット）

・資金計画についての講座と共に、助成金補助金の説明会・相談会を開催

・各種助成金・補助金の情報提供と申請事務等の指導・支援

・東近江市わくわく市民活動支援補助金審査会・発表会の運営協力

・「にじまちサポーターズ」の評価と持続可能な制度構築に向けた検討

**（５）スタッフのスキルアップ**

中間支援組織のスタッフとして人材育成・能力開発に関する研修会に参加する。

・事業評価についての研究

・オンライン講座への参加

・ファンドレイジング日本へ参加

**（６）東近江三方よし基金との連携・協力**

公益財団となり、活動の幅が広がった東近江三方よし基金と連携する。

・東近江三方よし基金との連携

【**基盤強化**】

　市民への認知と自立のための取り組みを引き続き探める。

（１）組織強化

昨年、市辺まちづくり協議会が今年度からの会員に表明してもらった。今後も引き続きまちづくりネット東近江の応援団となってもらうべく、地域自治組織への呼びかけを行なう。

ホームページのリニューアルにより、視察コーディネイト事業への問い合わせがあった。今年度は視察コーディネイト事業を具体的に進める。市外や県外からの視察者の対応を行うことで、東近江市の市民活動団体の紹介と収益事業への展開の可能性を引き続き探る。

ホームページ作成やSalesforce導入にかかる支援を通して、自主事業収入への可能性を模索する。

新たな拠点となり、今後もこの場が市民活動として認知されるように、幅広いPRを行うと共に、活用を引き続き進める。

**３．事業スケジュールについて**

事業に関しては、別紙に「2020年度組織目標進行（管理）計画表」作成し、運営委員会や事務局会議で適時確認をしながら、進めていく。詳しい事業計画内容については、事業遂行計画書に記載する。

**４．会議の開催について**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **会議** | **回数（時期）** | **参加者** |
| 総会 | 年1回（5月） | 運営委員、会員、事務局員 |
| 運営委員会 | 年５回（5,8,11,1,3月） | 運営委員、事務局員 |
| 事務局会議 | 随時 | 代表、副代表、市の担当課、事務局員 |